

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）	
信 託 期 間	約 5 年間（2015年 6 月26日～2020年 6 月17日）	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド」（以下「アメリカン・リート・クワトロ・ファンド」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドの受益証券への投資を通じて、米国のリートに投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ※米国のリートへの投資にあたっては、米国のリート指数を対象としたETFを活用します。対象となるリート指数には、一部、モーゲージ・リートや不動産関連株式を含むことがあります。 ②当ファンドは、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③アメリカン・リート・クワトロ・ファンドでは、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。また、円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組 入 制 限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

通貨選択型
米国リート・αクワトロ
（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第 6 期（決算日	2016年 1 月18日）
第 7 期（決算日	2016年 2 月17日）
第 8 期（決算日	2016年 3 月17日）
第 9 期（決算日	2016年 4 月18日）
第10期（決算日	2016年 5 月17日）
第11期（決算日	2016年 6 月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）」は、このたび、第11期の決算を行ないました。

ここに、第 6 期～第11期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0 1 2 0 - 1 0 6 2 1 2
（営業日の 9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

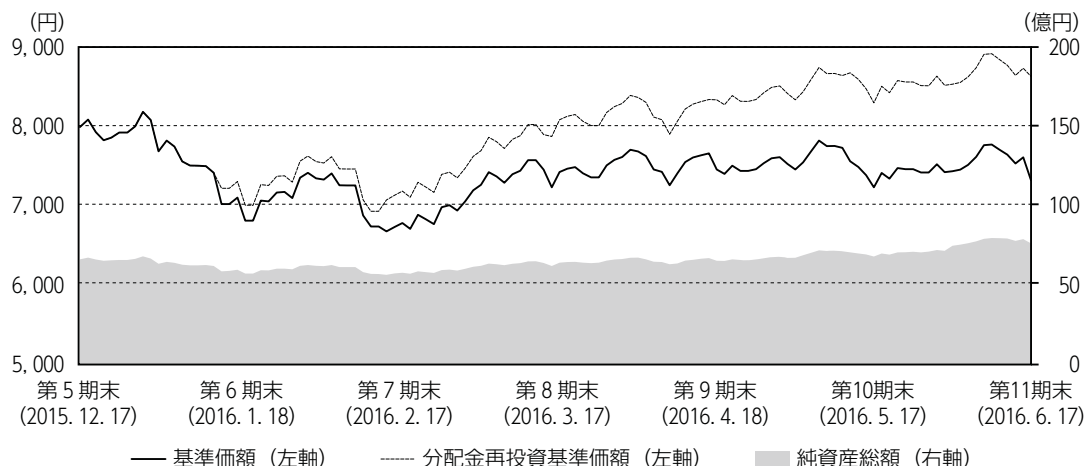
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分	み 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	円	%	%	%	百万円
1 期末（2015年 8 月17日）	9,602	200	△	2.0	0.0	95.7	5,577
2 期末（2015年 9 月17日）	7,888	200	△	15.8	0.0	97.9	5,623
3 期末（2015年10月19日）	8,037	200		4.4	0.0	97.4	6,071
4 期末（2015年11月17日）	8,041	200		2.5	0.0	98.5	6,329
5 期末（2015年12月17日）	7,993	200		1.9	0.0	98.0	6,621
6 期末（2016年 1 月18日）	7,021	200	△	9.7	0.0	98.3	5,869
7 期末（2016年 2 月17日）	6,677	200	△	2.1	0.0	98.7	5,652
8 期末（2016年 3 月17日）	7,233	200		11.3	0.0	98.8	6,209
9 期末（2016年 4 月18日）	7,457	200		5.9	0.0	98.5	6,532
10期末（2016年 5 月17日）	7,561	200		4.1	0.0	97.8	7,060
11期末（2016年 6 月17日）	7,321	200	△	0.5	0.0	97.2	7,633

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第6期首：7,993円

第11期末：7,321円（既払分配金1,200円）

騰落率：8.0%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

主にクレディ・スويس・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド（以下「アメリカン・リート・クワトロ・ファンド」といいます。）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。アメリカン・リート・クワトロ・ファンドについては、米国のリートに投資し、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行なうとともに、リートならびに通貨（円に対するブラジル・レアル）のカバードコール戦略を構築した結果、ブラジル・レアルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、リートが上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が寄与しました。オプション取引については、リートのオプションはマイナスに働き、通貨のオプションはプラスに寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		
第 6 期	(期 首) 2015年12月17日	円 7,993	% —	% 0.0	% 98.0
	12月末	8,184	2.4	0.0	99.2
	(期 末) 2016年 1月18日	7,221	△ 9.7	0.0	98.3
第 7 期	(期 首) 2016年 1月18日	7,021	—	0.0	98.3
	1 月末	7,097	1.1	0.0	98.4
	(期 末) 2016年 2月17日	6,877	△ 2.1	0.0	98.7
第 8 期	(期 首) 2016年 2月17日	6,677	—	0.0	98.7
	2 月末	7,008	5.0	0.0	98.2
	(期 末) 2016年 3月17日	7,433	11.3	0.0	98.8
第 9 期	(期 首) 2016年 3月17日	7,233	—	0.0	98.8
	3 月末	7,614	5.3	0.0	98.6
	(期 末) 2016年 4月18日	7,657	5.9	0.0	98.5
第10期	(期 首) 2016年 4月18日	7,457	—	0.0	98.5
	4 月末	7,613	2.1	0.0	98.5
	(期 末) 2016年 5月17日	7,761	4.1	0.0	97.8
第11期	(期 首) 2016年 5月17日	7,561	—	0.0	97.8
	5 月末	7,419	△ 1.9	0.0	98.4
	(期 末) 2016年 6月17日	7,521	△ 0.5	0.0	97.2

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○米国不動産 E T F 市況**

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象とした i シェアーズ米国不動産 E T F（配当再投資）は、米ドルベースで7.9%の上昇となりました。2016年に入り、中国株式市況の急落に端を発した世界的な株安の影響を受け、投資家のリスク回避傾向が強まったことから、市況は大幅な下落となりました。しかし、2月中旬に原油価格が底を打ったことなどを背景に回復を始めるとリスク回避傾向は後退し、3月末にかけて堅調に推移しました。4月から第11期末にかけては、比較的狭い範囲内での推移が続きました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で3.8%の下落となりました。2016年1月から、中国株式市況の下落に端を発した世界的なリスク回避傾向の影響を受け、安全資産とされる円に買いが集まり、ブラジル・レアルは下落しました。3月に入り、E C B（欧州中央銀行）が追加の金融緩和策を発表し投資家の新興国市場への投資姿勢が回復すると、ブラジル・レアルは急速に反発しました。その後は、第11期末まで一定の範囲で上下を繰り返す推移となりました。ルセフ大統領の弾劾裁判決定など、ブラジル国内における政局変化が変動要因となりました。

○短期金利市況

ブラジル中央銀行は、政策金利を14.25%で据え置きました。一方、F R B（米国連邦準備制度理事会）は2015年12月のF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを0～0.25%から0.25～0.50%に引き上げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**○当ファンド**

アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

○アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象とした E T F を活用し、米国のリートへの投資を行ないます。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。対象とする指数または E T F にかかるコール・オプションの売りを行ない、リート・カバー

ドコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。また、円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

○ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

○アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたETFを活用し、米国のリートへ投資しました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないました。投資対象とするETFにかかるコール・オプションの売りを行ない、リート・カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。また、円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。

○ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

第6期から第11期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ200円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
	2015年12月18日 ～2016年1月18日	2016年1月19日 ～2016年2月17日	2016年2月18日 ～2016年3月17日	2016年3月18日 ～2016年4月18日	2016年4月19日 ～2016年5月17日	2016年5月18日 ～2016年6月17日
当期分配金（税込み）（円）	200	200	200	200	200	200
対基準価額比率（％）	2.77	2.91	2.69	2.61	2.58	2.66
当期の収益（円）	200	200	200	200	200	200
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,010	1,480	2,001	2,298	2,565	2,893

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
(a) 経費控除後の配当等収益	596.15円	668.50円	718.90円	484.27円	450.58円	505.77円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	298.67	311.26	330.61	419.09	557.59	814.19
(d) 分配準備積立金	315.52	700.52	1,152.22	1,594.68	1,757.46	1,773.65
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,210.34	1,680.29	2,201.74	2,498.05	2,765.64	3,093.61
(f) 分配金	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,010.34	1,480.29	2,001.74	2,298.05	2,565.64	2,893.61

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引き続き、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

○アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたETFを活用し、米国のリートへ投資します。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプションの売りを行ない、リート・カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。また、円に対するブラジル・リアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

○ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 6 期～第11期		項 目 の 概 要
	(2015. 12. 18～2016. 6. 17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	45円	0. 608%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7, 428円です。
(投信会社)	(16)	(0. 216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(28)	(0. 378)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0. 041	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(投資信託受益証券)	(3)	(0. 041)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	48	0. 652	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注 3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 4) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年12月18日から2016年 6月17日まで)

決 算 期	第 6 期 ～ 第 11 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	82,553.605	4,392,099	16,190.909	887,330

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年12月18日から2016年 6月17日まで)

第 6 期 ～ 第 11 期							
買 付				売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	24,705.26	1,285,000	52	DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	16,190.909	887,330	54

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第6期～第11期）中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年12月18日から2016年 6月17日まで)

区 分	第 6 期 ～ 第 11 期					
	買付額等		B/A	売付額等		D/C
	A	うち利害関係人との取引状況B		C	うち利害関係人との取引状況D	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	108,094	1,050	1.0	—	—	—
コール・ローン	2,334,432	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第6期～第11期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

第 6 期 首 保 有 額	当作成期間中 設 定 額	当作成期間中 解 約 額	第 11 期 末 保 有 額	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	100	—	当初設定時における取得とその処分

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 11 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND	154,963.807	7,419,512	97.2

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年 6 月17日現在

項 目	第 11 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	7,419,512	93.9
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	160	0.0
コール・ローン等、その他	481,792	6.1
投資信託財産総額	7,901,465	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 5 期末	第 11 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	160

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年 1 月18日)、(2016年 2 月17日)、(2016年 3 月17日)、(2016年 4 月18日)、(2016年 5 月17日)、(2016年 6 月17日) 現在

項 目	第 6 期末	第 7 期末	第 8 期末	第 9 期末	第10期末	第11期末
(A) 資産	6,051,956,431円	5,835,482,470円	6,388,081,308円	6,717,005,996円	7,271,224,184円	8,001,465,059円
コール・ローン等	284,148,206	254,014,617	254,138,705	284,547,101	365,001,094	481,792,925
投資信託受益証券 (評価額)	5,767,648,193	5,581,307,821	6,133,782,571	6,432,298,863	6,906,063,074	7,419,512,118
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド (評価額)	160,032	160,032	160,032	160,032	160,016	160,016
未収入金	—	—	—	—	—	100,000,000
(B) 負債	182,764,247	183,387,739	178,152,718	184,628,098	210,308,677	368,422,686
未払金	—	—	—	—	—	100,000,000
未払収益分配金	167,184,339	169,293,950	171,707,792	175,202,169	186,781,542	208,527,616
未払解約金	8,607,702	8,041,991	465,648	2,318,409	16,745,921	52,035,038
未払信託報酬	6,926,051	5,965,890	5,854,355	6,936,373	6,565,321	7,594,517
その他未払費用	46,155	85,908	124,923	171,147	215,893	265,515
(C) 純資産総額 (A－B)	5,869,192,184	5,652,094,731	6,209,928,590	6,532,377,898	7,060,915,507	7,633,042,373
元本	8,359,216,955	8,464,697,539	8,585,389,608	8,760,108,485	9,339,077,130	10,426,380,806
次期繰越損益金	△ 2,490,024,771	△ 2,812,602,808	△ 2,375,461,018	△ 2,227,730,587	△ 2,278,161,623	△ 2,793,338,433
(D) 受益権総口数	8,359,216,955口	8,464,697,539口	8,585,389,608口	8,760,108,485口	9,339,077,130口	10,426,380,806口
1万口当り基準価額 (C/D)	7,021円	6,677円	7,233円	7,457円	7,561円	7,321円

*第 5 期末における元本額は8,283,950,798円、当作成期間 (第 6 期～第11期) 中における追加設定元本額は2,745,416,711円、同解約元本額は602,986,703円です。
*第11期末の計算口数当りの純資産額は7,321円です。
*第11期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,793,338,433円です。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)

■損益の状況

第6期	自2015年12月18日	至2016年1月18日	第8期	自2016年2月18日	至2016年3月17日	第10期	自2016年4月19日	至2016年5月17日
第7期	自2016年1月19日	至2016年2月17日	第9期	自2016年3月18日	至2016年4月18日	第11期	自2016年5月18日	至2016年6月17日
項 目	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期		
(A) 配当等収益	505,311,349円	571,877,322円	622,836,615円	431,210,209円	427,418,968円	534,982,454円		
受取配当金	505,305,323	571,873,502	622,836,385	431,210,209	427,427,759	534,994,296		
受取利息	6,026	3,820	230	—	—	5		
支払利息	—	—	—	—	△ 8,791	△ 11,847		
(B) 有価証券売買損益	△ 1,139,599,181	△ 688,285,410	28,970,141	△ 62,285,550	△ 144,449,336	△ 561,818,178		
売買益	4,141,335	1,127,465	28,980,187	6,184,300	360,067	3,427,094		
売買損	△ 1,143,740,516	△ 689,412,875	△ 10,046	△ 68,469,850	△ 144,809,403	△ 565,245,272		
(C) 信託報酬等	△ 6,972,206	△ 6,005,643	△ 5,893,370	△ 6,982,597	△ 6,610,067	△ 7,645,130		
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 641,260,038	△ 122,413,731	645,913,386	361,942,062	276,359,565	△ 34,480,854		
(E) 前期繰越損益金	△ 993,856,048	△ 1,796,444,702	△ 2,087,477,222	△ 1,570,810,995	△ 1,380,135,958	△ 1,272,625,340		
(F) 追加信託差損益金	△ 687,724,346	△ 724,450,425	△ 762,189,390	△ 843,659,485	△ 987,603,688	△ 1,277,704,623		
(配当等相当額)	(249,667,086)	(263,476,700)	(283,846,007)	(367,133,719)	(520,739,750)	(848,905,589)		
(売買損益相当額)	(△ 937,391,432)	(△ 987,927,125)	(△ 1,046,035,397)	(△ 1,210,793,204)	(△ 1,508,343,438)	(△ 2,126,610,212)		
(G) 合計 (D + E + F)	△ 2,322,840,432	△ 2,643,308,858	△ 2,203,753,226	△ 2,052,528,418	△ 2,091,380,081	△ 2,584,810,817		
(H) 収益分配金	△ 167,184,339	△ 169,293,950	△ 171,707,792	△ 175,202,169	△ 186,781,542	△ 208,527,616		
次期繰越損益金 (G + H)	△ 2,490,024,771	△ 2,812,602,808	△ 2,375,461,018	△ 2,227,730,587	△ 2,278,161,623	△ 2,793,338,433		
追加信託差損益金	△ 687,724,346	△ 724,450,425	△ 762,189,390	△ 843,659,485	△ 987,603,688	△ 1,277,704,623		
(配当等相当額)	(249,667,086)	(263,476,700)	(283,846,007)	(367,133,719)	(520,739,750)	(848,905,589)		
(売買損益相当額)	(△ 937,391,432)	(△ 987,927,125)	(△ 1,046,035,397)	(△ 1,210,793,204)	(△ 1,508,343,438)	(△ 2,126,610,212)		
分配準備積立金	594,904,864	989,549,733	1,434,726,903	1,645,990,939	1,875,338,466	2,168,089,919		
繰越損益金	△ 2,397,205,289	△ 3,077,702,116	△ 3,047,998,531	△ 3,030,062,041	△ 3,165,896,401	△ 3,683,723,729		

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照してください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
(a) 経費控除後の配当等収益	498,339,144円	565,871,679円	617,204,910円	424,227,612円	420,808,894円	527,337,318円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	249,667,086	263,476,700	283,846,007	367,133,719	520,739,750	848,905,589
(d) 分配準備積立金	263,750,059	592,972,004	989,229,785	1,396,965,496	1,641,311,114	1,849,280,217
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,011,756,289	1,422,320,383	1,890,280,702	2,188,326,827	2,582,859,758	3,225,523,124
(f) 分配金	167,184,339	169,293,950	171,707,792	175,202,169	186,781,542	208,527,616
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	844,571,950	1,253,026,433	1,718,572,910	2,013,124,658	2,396,078,216	3,016,995,508
(h) 受益権総口数	8,359,216,955□	8,464,697,539□	8,585,389,608□	8,760,108,485□	9,339,077,130□	10,426,380,806□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期	第10期	第11期
	200円	200円	200円	200円	200円	200円
（ 単 価 ）	(7, 021円)	(6, 677円)	(7, 233円)	(7, 457円)	(7, 561円)	(7, 321円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。
（注）2016年6月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

財政状態計算書
2015年9月30日

資産	
損益通算公正価値で測定する金融資産（取得原価：6,748,475,637円）	円 5,582,411,548
現金および現金同等物	100,003,942
資産合計	5,682,415,490
負債	
未払金内訳：	
購入済み投資有価証券	100,000,000
負債合計	100,000,000
資本（償還可能受益証券保有者帰属純資産）	
元本	6,775,281,301
繰越損失	(1,192,865,811)
資本合計	5,582,415,490
資本・負債合計	円 5,682,415,490

包括利益計算書

2015年 6 月26日（運用開始日）～2015年 9 月30日

収益

クーポン収入	円	187,781,126
受取利息		3,942
損益通算公正価値で測定する金融資産に係る純実現損失		(26,805,664)
損益通算公正価値で測定する金融資産に係る評価損の純変動額		(1,166,064,089)
損失合計		(1,005,084,685)

費用

報酬代行会社報酬		899,825
費用合計		899,825
営業損失		(1,005,984,510)
包括損失合計（業務活動による償還可能受益証券保有者帰属純資産の減少）	円	(1,005,984,510)

2015年 9 月30日現在の担保付スワップの残高（純資産の100%）

変動利率の支払い／受取	支払い
変動利率の指数	米国 REIT クワトロ戦略
固定利率	0.00%
満期日	2015年10月15日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
想定元本	7,089,676,845 円
原価	6,748,475,637 円
公正価値	5,582,411,548 円
評価損	(1,166,064,089)円

(注) 担保付スワップへの投資を通じて、米国のリートへ投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第11期の決算日（2016年6月17日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を15～16ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年12月18日から2016年6月17日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
591 国庫短期証券 2016/5/30	27,000,600		
596 国庫短期証券 2016/6/20	17,520,381		
533 国庫短期証券 2016/5/20	17,450,349		
588 国庫短期証券 2016/5/16	16,000,347		
280 10年国債 1.9% 2016/6/20	6,930,900		
98 5年国債 0.3% 2016/6/20	5,500,460		
586 国庫短期証券 2016/5/12	5,000,433		
97 5年国債 0.4% 2016/6/20	2,370,304		
539 国庫短期証券 2016/6/20	2,290,018		
594 国庫短期証券 2016/6/13	1,330,021		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年6月17日現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（69,530,754千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2016年6月17日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	34,690,000	34,690,138	49.6	—	—	—	49.6

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年6月17日現在					
区 分		銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額
			%	千円	千円
国債証券		97 5年国債	0.4000	2,370,000	2,369,992
		98 5年国債	0.3000	5,500,000	5,499,983
		280 10年国債	1.9000	6,930,000	6,930,000
		539 国庫短期証券	—	2,290,000	2,290,018
		596 国庫短期証券	—	17,520,000	17,520,142
		597 国庫短期証券	—	80,000	80,002
合 計	銘 柄 数	6銘柄			
	金 額			34,690,000	34,690,138

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第7期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

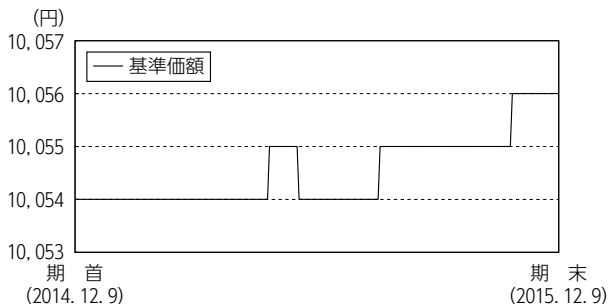
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
	騰 落 率		
(期首) 2014年12月9日	円	%	%
12月末	10,054	—	62.6
2015年1月末	10,054	0.0	71.5
2月末	10,054	0.0	74.4
3月末	10,054	0.0	61.6
4月末	10,054	0.0	60.0
5月末	10,054	0.0	87.5
6月末	10,054	0.0	78.1
7月末	10,055	0.0	90.8
8月末	10,055	0.0	67.2
9月末	10,055	0.0	51.4
10月末	10,055	0.0	76.0
11月末	10,056	0.0	51.3
(期末) 2015年12月9日	10,056	0.0	51.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,054円 期末：10,056円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	6,780,031	399,997 (4,330,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

当 期			期 末		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘 柄			銘 柄		
		千円			千円
554 国庫短期証券	2015/11/30	699,999	532 国庫短期証券	2015/8/17	99,999
560 国庫短期証券	2015/12/28	600,000	534 国庫短期証券	2015/8/24	99,999
540 国庫短期証券	2015/9/24	470,000	520 国庫短期証券	2015/6/22	99,999
548 国庫短期証券	2015/11/2	449,999	466 国庫短期証券	2015/7/21	99,998
555 国庫短期証券	2015/12/7	400,000			
546 国庫短期証券	2015/10/19	389,999			
536 国庫短期証券	2015/9/7	309,999			
557 国庫短期証券	2015/12/14	300,000			
563 国庫短期証券	2016/1/18	299,999			
567 国庫短期証券	2016/2/8	299,999			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,100,038	51.3
コール・ローン等、その他	1,990,861	48.7
投資信託財産総額	4,090,899	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建) 公社債 (種類別)

作 成 期	当 期			期 末			
区 分	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	2,100,000	2,100,038	51.3	—	—	—	51.3

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内(邦貨建) 公社債 (銘柄別)

当 期			期 末		
区 分	銘 柄	年利率	額面金額	評 価 額	償還年月日
国債証券	557 国庫短期証券	—	300,000	300,000	2015/12/14
	559 国庫短期証券	—	200,000	200,000	2015/12/21
	560 国庫短期証券	—	600,000	600,000	2015/12/28
	563 国庫短期証券	—	300,000	299,999	2016/01/18
	566 国庫短期証券	—	200,000	199,999	2016/02/01
	567 国庫短期証券	—	300,000	299,999	2016/02/08
	573 国庫短期証券	—	200,000	200,038	2016/03/07
合計	銘柄数	7銘柄			
	金 額		2,100,000	2,100,038	

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	4,090,899,982円
コール・ローン等	1,990,861,486
公社債（評価額）	2,100,038,496
(B)負債	—
(C)純資産総額（A－B）	4,090,899,982
元本	4,068,192,218
次期繰越損益金	22,707,764
(D)受益権総口数	4,068,192,218口
1万口当り基準価額（C／D）	10,056円

*期首における元本額は79,467,922円、当期中における追加設定元本額は4,645,374,497円、同解約元本額は656,650,201円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・プルファンド（適格機関投資家専用）188,972,589円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）3,808,997,814円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07（為替ヘッジあり／限定追加型）995円、通貨選択型 米国内リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10（為替ヘッジあり）995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10（為替ヘッジあり）Ⅱ995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12（為替ヘッジあり）995円、ダイワ／ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド15,363,351円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワTOP I Xベア・ファンド（適格機関投資家専用）596,719円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンドー予想分配金提示型ー53,926,540円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,056円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
(A)配当等収益	299,560円
受取利息	299,560
(B)有価証券売買損益	△ 1,226
売買益	597
売買損	△ 1,823
(C)当期損益金（A＋B）	298,334
(D)前期繰越損益金	429,726
(E)解約差損益金	△ 3,569,799
(F)追加信託差損益金	25,549,503
(G)合計（C＋D＋E＋F）	22,707,764
次期繰越損益金（G）	22,707,764

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。